

第 1 回産業振興推進会議での 視点・キーワード整理

日時：令和4年8月8日（月）午後2時～4時

場所：丸亀市生涯学習センター

コロナ禍における産業政策の在り方（１）

▼視点

▼キーワード

▼主なご意見

【視点①】 1次産業の重要性

食糧危機
食糧価格の高騰
食糧安全保障

- ・ 食糧問題の話が出てきたが、近年、食糧危機や食糧安全保障の話題が多く取り上げられている。食糧問題を農業者だけでなく、国民全体の問題として危機感を持っていくべきだ。
- ・ 兼業農家を中心とした香川県の小さな農家をどう持続可能なものにしていくか、これから産業政策を推進していく中でしっかりと議論していきたい。
- ・ 人間が生活する中で、根源的に重要なものは「食」であり農業振興である。

【視点②】 地域の担い手育成

若手農家
新規就農者
U/Iターン促進

- ・ 新規就農に興味がある学生も増えている。そういう若い世代と地域がマッチングできれば、地域の魅力がさらに高まる。
- ・ 商店街をはじめとして、農業などでも「後継者がいない」「夢がない」という問題に直面している。
- ・ やはり「地域というのは人である」。人々が生き生きと働けるような社会を実現していくために、産業政策を展開すべきである。

【視点③】 持続可能な地域づくり

持続可能な地方
産業構造の転換

- ・ 人口減少や高齢化が進む地域でも、若い人と高齢者が共に働いて日々の生活を過ごす取り組みや、ふるさと納税を活用して地域を支えている自治体がある。
- ・ 人口減少は自治体の消滅を意味しない。「人がいる限りは地域は存続し続ける」というような意志を持って地域づくりをしていかないといけない。

コロナ禍における産業政策の在り方（２）

▼視点

▼キーワード

▼主なご意見

【視点④】 デジタル化対応

デジタル社会
デジタル化と地域

- ・ デジタル社会というのは、今後必ず来る流れで、それに対して地域がどのように対応していくか考えないといけない。
- ・ デジタル化とコロナということもあり、地域コミュニティが希薄化している。地域を作る上では、世代を超えたコミュニケーションが大事になる。
- ・ デジタル化が進んでいるが、それを不便に感じる人も増えていくのではないか。

【視点⑤】 学生の志向の変化

「脱大企業主義」
地域での居場所
やりがい、働きがい

- ・ 学生の価値観も大企業志向だけではなく、「地域で何かをしたい」というような価値観に変わってきている。
- ・ 若い世代の考え方は変わってきている。かつてのように大企業だけに就職したいといった発想は徐々になくなっていく。どちらかというところ、地域の中でどう自己実現していくかという所に視点が移っている。

次期産業振興計画基本理念について（１）

▼視点

【視点①】
「人を育てる」

▼キーワード

担い手育成
地元就職

▼主なご意見

- ・ 企業」を育てることも大事だが、何よりも「人」を育てることが大事だ。人を育てるという点でも、産業課だけではなく他の課との連携が必要になってくる。
- ・ 「人」を育てることはこれから重要な課題となってくる。一回、市外に出たとしても、また丸亀に戻ってきてもらうためには、やはり丸亀の魅力をメッセージとして残しておくことが必要だ。
- ・ 地元大学への進学や、地元企業へ就職していく子どもを増やしていけるような文章を盛り込むべきだ。

【視点②】
時代に即した
キーワードへの対応

SDGs
ゼロカーボン
デジタル対応 etc...

- ・ デジタル化に加えて持続可能性、SDGs、環境志向、カーボンニュートラルの視点は避けては通れない。
- ・ 今後の産業を考えていく上で、「デジタル化」は外せない言葉だ。
- ・ SDGsの全ての問題に取り組むのは中小零細企業にとっては厳しい。ただ、1つや2つは自社でも関わっている所があるので、少しばかりは気に留めるべきだ。
- ・ デジタル化や横のつながり、持続可能性、環境志向などの様々なキーワードが出てきた。未来が予測できない不確実な社会の中で、そういったキーワードを基本理念にしっかりと入れていくべきだ。

次期産業振興計画基本理念について（２）

▼視点

【視点③】 「企業の力を強化」

中小企業の力向上

100年企業の育成

伝統産業の役割

【視点④】 丸亀の魅力を 再発信

丸亀に人を呼び込む

魅力を再発信

▼キーワード

▼主なご意見

- ・ 「100年企業」という言葉をもう少し単純に考えても良いのではないかな。もっと産業ごとに強みと弱みを明確にして、各企業が力をつけていくことが求められる。
- ・ 税収が増えることが子育てなどの福祉の向上にも繋がっていく。そういった点でも、やはり企業が力を付けていくためにはどうしたら良いか、単純なことだが深く考えていくべきだ。
- ・ 地域での就職先として、若者に選んでもらえるように、中小企業も力を付けていく必要がある。
- ・ デジタルを活用して伝統産業も生まれ変われる可能性がある。
- ・ 観光はコロナで止まっているが、今年の秋には3年ぶりに瀬戸内芸術祭が開催される。その来場者が丸亀にも寄ってもらうように、うどんや骨付き鶏などの「食」をアピールしていけたら良い。
- ・ 商店街は空き家ばかりなので、そこを瀬戸内芸術祭のイベント期間中だけでも一時的にお店を出して人を呼び込み、そして丸亀城にも寄ってもらうような流れを作ることが大事だ。
- ・ 人に来てもらうためには「おもてなし」が最も重要。いつまでもコロナと言っているのではなく、何かアクションをしていくべきだ。
- ・ 丸亀市はお城、川、山など、良いものが多いのに、なぜ上手く活用できていないのかと思う。